

令和元年度 第7回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和2年3月17日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員10名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長9名
- 4 傍聴者 なし(新型コロナウイルス感染予防のため傍聴中止)
- 5 配布資料 (1) 令和元年度 小平市公民館定期講座等実施状況表 資料1
(2) 令和元年度 公民館まつり開催報告 資料2
(3) 令和元年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告 . . . 資料3
(4) 令和元年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告 . . . 資料4
(5) 令和2年度 小平市立公民館事業計画 資料5
(6) 提言(案) 資料6
(7) 令和元年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録 . . . 資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 公民館定期講座実施状況について
(3) 公民館まつり開催報告について
(4) 東京都公民館連絡協議会について
(5) 令和2年度 小平市立公民館事業計画について
(6) 提言について
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館について

市では感染拡大への影響を考慮して、公民館をはじめ各種の施設を3月2日(月)から15日(日)まで臨時休館していたが、現在の状況を踏まえて、さらに臨時休館を3月31日(火)まで延長することとした。

既に予約のあった休館期間中の部屋の利用については、職員が利用団体に電話連

絡し、職権でキャンセル扱いとした。開館等の新たな情報については、市ホームページ等で知らせていく予定である。

(2) 市議会 3月定例会における一般質問について

・一般質問の期間は2月27日から29日まで。

公民館に関連した質問が2人の議員からあり、教育委員会から答弁した。

・「自治会の所有する集会所の活用を」(比留間洋一議員)

自治会が所有する集会所を公民館として活用する考えがあるか。

(答弁) 自治会が自主的な活動を行い、その目的を達成するために設置しているものであることから、公民館として活用することは考えていないが、地域の自主的な交流やコミュニティづくりの拠点として、活発に利用されることは望ましい。

・「集会施設などの利用者負担の見直しについて、市民との話し合いがもっと必要ではないか」(水口かずえ議員)

津田公民館友の会が行った利用者負担の見直しに関するアンケートの回答をもとに、利用者負担の見直しによりサークル運営が困難になることへの見解のほか、利用者等との話し合いについて問う。

(答弁) アンケートにおいて、高齢者が中心となる利用団体が多い中で、比較的、構成人数が少ない団体から、活動の継続が困難になるとの意見があったことを答えたうえで、意見も踏まえながら、活動が継続できるよう、使用料の減額方法や、激変緩和措置のほか、利用者の利便性についても検討していく。

また、利用者等との話し合いについては、公民館運営審議会や公民館利用者懇談会等連絡協議会などの会議の場で、利用者負担の見直しの情報を報告してきた。

(3) 令和2年度の公民館事業の予算概要について

来年度の当初予算を審議する予算特別委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、昨日から開かれており、公民館を含む教育委員会に関する予算の審議は本日の午後に行われることになった。

予算案の公民館事業の予算規模や事業内容は、本年度と大きな違いはないが、来年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年に当たることから、スポーツレクリエーション体験イベントや外国文化の理解促進に向けた講座をはじめ、公民館事業企画委員会で企画、検討した各種の講座を開催する。また、

公民館まつりや音楽会等の多様な事業を展開するための予算を盛り込んだ。

2 公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 1 について説明した。新型コロナウイルス感染予防のため公民館が休館になったことにより、各種事業 38 件が中止となった。

(質疑応答)

委員 中央公民館の健康づくり講座「健康睡眠のすすめ」の受講者が 30 名で、修了が 14 名と受講生が半減しているのはなぜか。

事務局 全 3 回の講座のため、2 回出席で修了となる。2 回目の講座が、10 月 12 日の台風 19 号の影響による欠席者が多く、修了に至らなかった人が増えてしまった。

3 公民館まつり開催報告について

事務局より資料 2 について説明した。

(質疑応答)

委員 大沼公民館は子どもにやさしい公民館だと思う。今年は家族 4 人でまつりに参加した。無料でできる体験コーナーがあることが良かった。また、体験コーナーがあると滞在時間が長くなり、楽しかった。また、大福がおいしかった。パンフレットに利用者懇談会から 2・3 月にサークルの体験見学会の案内があり、いいアイデアだと思った。

委員 天気が雪で大変だったと思うが、子どもが多く、楽しかった。

委員 大沼公民館は、いつも子どもが多くて楽しい。

委員長 子どもが入口からいっぱい、賑やかで、長い時間楽しんだ。

委員 1 日目が雪だったが、企画は予定通り実施されたのか。

事務局 予定通り実施した。

4 東京都公民館連絡協議会について

資料3は参照、委員より資料4について説明した。

5 令和2年度小平市立公民館事業計画（案）について

事務局より資料5について説明した。

（質疑応答）

委 員 仲町公民館はジュニア向けの講座が多いが理由はあるか。

事 務 局 仲町公民館のリンクス講座の中で、ジュニア対象のものを表記している。

6 提言について

事務局より資料6について、表現や語尾について修正した旨の説明をした。

（質疑応答）

会 長 倉持委員にも相談して文言などを修正した。

委 員 5頁6(4)「優しい」を平仮名にしてほしい。平仮名にすると簡単であるという
易しいと人に優しいというふたつの意味が持てる。

会 長 わかりました。修正します。他になければ、これで皆さん提言にご賛同いただ
けますか。

委 員 賛同します。(拍手)

全会一致で提言が了承されたので、提言を会長から中央公民館長へ提出した。

7 その他

(1) 各委員からあいさつ

- 委員 知らないことがたくさんあったが、それを知ることができ勉強になった。津田公民館の学習支援ボランティアに参加し、ボランティアの集会で話を聞いたりしているうちに、もともと興味があった子どもたちへの教育についての学びにつながった。
- 委員 最近になり、公民館運営審議会の重みについて実感するようになった。これからの公民館には、課題がいっぱいあると思った。小平市は他市と比べて、公民館活動が充実している。市民の意識が高いので、公民館の様々な問題については十分に議論して、乗り越えて行ければいいと思う。今後、公民館の問題を乗り越えていけるようなことも提言に盛り込んだつもりである。これからもっと公民館の発展に寄与するよう願っている。
- 委員 社会問題解決のためには、他者の意見に耳を傾けること。これが、学びそのものに他ならないのではないか。社会教育の役割と使命はここにあるのではないか。民主主義の根幹に公民館が大きな役割を果たしている、あるいは果たせる立場にあると考えている。
- 委員 小平市が安心して住み続けられる街であって欲しいという願いがあって、いろいろな活動をしてきた。小さな居場所作りと学習を通じて提供できる絆のネットワークを通じて貢献したいと考えていたが、なかなか道のりは遠い。今月、公民館が休館したことによって、居場所がなくなり、知的な学習をする場所がなくなり、仲間とつながる場所がなくなってしまい、公民館の重要性に改めて気がついた。今後も安心して暮らせる街になるようにサポートしていきたい。
- 委員 多世代の人たちに来館してもらうにはどうしたら良いかという話し合いをしてきたが、その中に中高生が入っていなかったのが反省点である。中高生の話を直接聞けたら、具体的な案が聞けたのではないか。2月の70周年記念シンポジウムでは、大学生から、インスタ映えのする壁があると良い、ボルタリングができる壁があると良いという意見があった。若者の意見を直接聞いて、それが反映できると良いと考えた。
- 委員 公民館にはポテンシャルがあると思う。あまり細かいことに捉われず、積極的にいろいろなことに取り組んで欲しい。
- 委員 公民館運営審議会委員になるまで、こんなに公民館のことを考えたことはなか

った。委員が会議だけでなく、各館のまつりや研修会に参加するなど、幅広く活動することがわかった。2月の70周年記念シンポジウムを経験して、若者と直接交流することの大切さが良くわかった。若い人たちには新しいアイデアがあり、その話を引き出すことが大切である。そのアイデアを公民館で実施することで、公民館の問題解決につながっていくのではないか。

委員 中央公民館で開催した女性の再就職の講座に参加し、現在就職した。今後も公民館の講座に参加して、将来は公民館の嘱託職員として働きたい。市の行事に参加すると元公民館の職員がいて、つながりができた。

委員 印象に残ったことが2つある。

事業企画委員会と利用者懇談会等連絡協議会との研修会が良かった。公民館に関わる人たちの交流が大事で、交流することで情報を共有することが大事だと思う。公民館にも地域性があるので、全体が交流して、共有することが重要だと思った。東京都公民館連絡協議会へ委員部会や研修会へ運営審議会委員が出席していたが、こういった活動に参加することも大切で、またそこに参加してくださる委員さんが公民館活動を下支えしてくれているのだと感じた。

70周年記念シンポジウムの話が出たが、シンポジウムには長い準備期間があり、公民館職員と何回も話し合い準備を重ねてきた。準備を十分にしてきたことで、シンポジウム当日のいろいろなことに対応できた。学生には役割があつて多世代と交流できたことが良かった。何の役割なく話し合いをすることは学生には難しいので、役割を持たせて話し合いをすると学生も話がしやすい。また、シンポジウムに参加した学生からは、こんなに地域について考えている大人がいるのかと驚きの声があった。生で話を聞くことができたことは学生にとっても良い経験となった。

(2) 次期公民館運営審議会委員

事務局より報告した。

(3) 事務局よりあいさつ

事務局よりあいさつをした。

(4) 会長あいさつ

新型コロナウイルスの流行により集う場所がなくなり、仲間と集うことが生活のリズムを作っていたのだと実感している。社会情勢の変化の中で公民館に求められる課題はいろいろあると思うが、ここに提言をまとめ提出することが

できた。職員・委員の皆さまの支えがあって無事任期を終えることができた。
審議会あての要望書については、提言の内容に沿った形で回答する。

館長 提言の中に、要望書の回答と重なる部分が盛り込まれている。今年度中に回答する予定である。

令和2年度第1回定例会は4月14日（火）午後2時から中央公民館会議室にて開催する。